

和光市デジタルミュージアム紀要

第3号



目次

<論稿>

「収蔵資料データベース」所収民俗資料の調査について 森朋久 p 1

<資料紹介>

吹上貝塚のフィルム整理（覚書） 安井翠 p 15

<実践報告>

平成 27 年度和光市市制施行 45 周年記念特別展

「出土遺物の交流と結」 - 自治体間相互応援協定締結 20 周年記念 - の記録 鈴木一郎 p 25

<新指定文化財の紹介>

午王山遺跡発掘調査出土の弥生時代遺物 和光市教育委員会 p 39



<別集>

和光市内の「引又道」と「道しるべ」 和光市歴史と文化を学ぶ会

2017.3

和光市教育委員会

序文

地域の文化財とは、先人によりこの地に生まれ現代まで伝えられてきた、知恵や経験、活動の成果及びそれが存在する環境など、地域文化を構成する多様な価値観を持つ歴史的・文化的・自然的遺産であります。

和光市では、このような郷土ゆかりの貴重な文化財等を、次世代に継承していくために、多くの方々から資料等の寄託や寄附をいただき、文化財保存庫に収蔵してきました。これらの収蔵物等を広く市民の皆様をはじめ多くの方々にご紹介し、本市の歴史や文化をご理解いただくツールとして、平成24年4月1日に、「和光市デジタルミュージアム『れきたま』」を、Web上に構築をして配信を開始しました。そして、昨年度からは、さらに『れきたま』の充実を図るべく、「和光市デジタルミュージアム紀要」を創刊し、併せてWeb上において公開をしております。

今回は、明治大学農学部兼任講師・和光市文化財保護委員会委員の森朋久氏から、「『収蔵資料データベース』所収民俗資料の調査について」貴重な成果をお寄せいただき、紀要内容の充実にご協力を賜りました。誠にありがとうございました。また、今年度指定文化財となった「午王山遺跡発掘調査出土の弥生時代遺物」の紹介や当教育委員会文化財保護担当職員2名の論稿、さらに、別集として当市で活動する和光市歴史と文化を学ぶ会から寄稿して頂いた「和光市内の『引又道』と『道するべ』」を掲載しました。

歴史文化遺産の保護は、地域における祖先の営みを知り、地域の歴史を正しく理解し、地域の文化の向上に資するものとして、今の時代に生きる私たちに課せられた大切な役割です。また、このような資料の蓄積は、本市の歴史や文化財を学び理解していただく上で有効なものであると考えています。ふるさと再発見のために、歴史文化遺産をトータルに見つめる眼を養っていただく一助として、本紀要が多くの皆様にご活用いただけますれば幸甚に存じます。

結びに、本紀要の刊行にあたり公私ともご多用の中、ご協力をいただきました先生方をはじめ、たくさんのご教示・ご高配を賜りました関係各位に心より厚く御礼申し上げます、あいさついたします。

平成29年3月
和光市教育委員会
教育長 戸部 恵一

